

# 平成31年度 高体連弓道専門部 部顧問会議

平成31年4月12日 (金)  
岐阜総合学園高等学校 会議室

## 1 開会挨拶 会場校校長

専門委員長

## 2 議題

- (1) 平成30年度事業報告他
- (2) 平成31年度 高体連弓道専門部組織・役員について
- (3) 平成31年度事業計画・運営について
  - ① 各種大会について  
大会要項はHPよりダウンロード <http://gifukyudo.sakura.ne.jp/>  
(ア) 変更点・留意点について  
・全国選抜大会県決勝への進出校は9チームとする。  
(表彰は上位4チームとする)  
(イ) 試合運営等について
  - ② 地区強化練習会、講習会の実施について
  - ③ 選手強化について
  - ④ 国体選手選考方法について
  - ⑤ その他
- (4) その他 (連絡報告事項)
  - ① 技能優秀選手・技能優秀校表彰について
  - ② 全国高体連弓道専門部の選手個人登録について
  - ③ 全日本弓道連盟システム登録について
  - ④ 「弓道部活動のしおり No38」について
  - ⑤ 岐阜県弓道連盟と高体連弓道専門部について
  - ⑥ 岐阜県教職員弓道連盟と高校弓道部顧問について
  - ⑦ 顧問の指導力の向上について
  - ⑧ 地方審査について

## 3 閉会挨拶 専門委員長

お願い

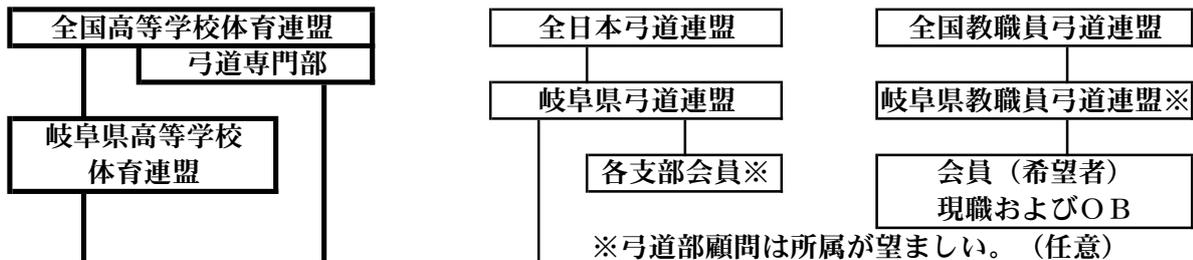
顧問会議に先立ち、各大会の立ち順抽選を行います。

抽選をされたら、4ページに番号を転記し、抽選札は学校名を記入後、担当に返却してください。

一覧は、ホームページに掲載します。

月	日	曜	大会・事業	男子団体	女子団体	男子個人	女子個人
4	13	金	高校弓道部顧問会議	岐阜総合学園高校にて：事業計画、予算などの検討・承認			
	14 ～15	土 日	ぎふスポーツフェア 高校弓道大会 (団体のみ)	1日目 トーナメント制(予選40射) 男 1:豊橋商業 子 2:大垣商業 団 3:中京院中京 体 3:松阪工業	2日目 総的中制(60射) 女 1:豊橋商業 子 2:飯田女子 団 3:大垣商業 体 3:浪速	男 1:浪速 子 2:京都外大西 団 3:多治見西 体	女 1:豊橋商業 子 2:浪速 団 3:好文学園 体
5	19	土	第66回県高校総合体育大会 兼全国・東海総体県予選 団体予選	1:中京院中京 2:中津川工業 3:多治見西 4:大垣商業 5:東濃実業 6:麗澤瑞浪 18チーム	1:飛騨高山 2:関商工 3:益田清風 4:土岐商業 5:中津 6:恵那農業 16チーム	1:安藤(中津川工業) 2:中林(中京院中京) 3:宮嶋(中津川工業) 4:柏谷(瑞浪) 5:長江(中津川工業)	1:北川(済美) 2:船坂(益田清風) 3:犬飼(多治見) 4:古山(東濃実業) 5:林(関商工)
	20	日	個人				
	26	土	団体決勝				
			県大会出場チーム(人数)			137人	103人
6	2	土	全国教職員県予選大会				
	16 ～17	土 日	第65回東海高校総合体育大会	中京院中京 優勝 大垣商 ベスト8 多治見西ベスト8	関商工 ベスト8 益田清風ベスト8 土岐商 ベスト8	長江(中津川工業)2位 中林(中京院中京)3位	林(関商工)3位 犬飼(多治見)4位
	23	土	国体選手(少年)選考会(一次)				
7	22	日	国体選手(少年)選考会(最終)	男子:平松(大垣商業)、草野(中京院中京)、長島(中京院中京) 女子:本庄(岐阜総合)、小池(大垣商業)、西脇(大垣商業)			
8	2 ～5	木 日	全国高等学校総合体育大会 第63回全国高校弓道大会	中京院中京 ベスト16	飛騨高山 予選敗退	安藤(中津川工業) 準決勝敗退 中林(中京院中京) 予選敗退	北川(済美) 決勝進出 船坂(益田清風) 予選敗退
			各地区強化練習会	各地区ごとに実施			
	18 ～19	土 日	第73回国民体育大会 第39回東海ブロック大会	岐阜県選抜 総合1位(近1・遠1)	岐阜県選抜 総合1位(近1・遠1)		
9	22 ～23	土 日	グローアッププラン (選手強化試合)	1日目 総的中制(48射) 男 1:多治見西 子 2:土岐商業 団 3:岐南工業 体	女 1:関商工 子 2:飛騨高山 団 3:多治見西 体	2日目 トーナメント制(予選36射) 男 1:多治見西 子 2:岐南工業 団 3:岐阜総合 体 3:関商工	女 1:多治見西 子 2:岐阜総合 団 3:大垣北 体 3:多治見西
	30 ～3	日 水	第73回国民体育大会	近的 優勝 遠的 予選敗退	近的 予選敗退 遠的 予選敗退		
10	12	金	高体連・県弓連日程調整会議				
			第37回全国高校弓道選抜大会	1:大垣商業 2:斐太 3:岐阜総合学園 4:中京院中京 5:高山工業 6:岐阜各務野 19チーム	1:大垣商業 2:中京院中京 3:中津 4:多治見 5:関商工 6:岐南工業 17チーム	1:近藤(関商工) 2:棚瀬(大垣商業) 3:仲田(土岐商業) 4:檜垣(大垣商業) 5:丹羽(多治見西) 6:伊藤(多治見) 88人	1:伊佐治(中京院中京) 2:北川(済美) 3:山幡(中京院中京) 4:野々下(岐阜総合) 5:太田(武義) 6:速水(岐南工業) 63人
	27	土	団体予選				
	28	日	個人				
11	3	土	団体決勝				
			県大会出場チーム(人数)				
	23 ～24	土 日	第37回東海高校弓道選抜大会	大垣商業 2位 中京院中京ベスト8	大垣商業 優勝 中京院中京 3位 多治見ベスト8		山幡(中京院中京)4位 伊佐治(中京院中京)5位
12	24 ～26	金 日	第37回全国高校弓道選抜大会	大垣商業 ベスト16	大垣商業 準優勝	近藤(関商工) 予選敗退 棚瀬(大垣商業) 8位	伊佐治(中京院中京) 予選敗退 北川(済美) 予選敗退
2	10	土	県新人大会				
	11	日	団体戦	1:大垣商業 2:中京院中京 3:岐阜総合学園	1:大垣商業 2:多治見西 3:中京院中京	1:東田(斐太) 2:大森(中京院) 3:村木(岐南工業)	1:日下(多治見) 2:吉田(大垣商業) 3:吉田(大垣商業)
			個人戦	3:中津川工業 4:多治見西 5:多治見 5:東濃実業 5:岐南工	3:岐阜総合学園 4:多治見 5:恵那農業 5:関商工 5:各務原 5:岐阜各務野	4:板倉(多治見西) 5:長江(中津川工)	4:吉田(関商工) 5:鶴飼(瑞浪)
			県大会出場チーム(人数)	18チーム	17チーム	104人	86人
	22	金	高体連弓道専門部代表者会議	岐阜総合学園高校にて			
3	16 ～17	土 日	第15回中日本高等学校弓道大会	1日目 トーナメント制(予選40射) 1:中京院中京 2:富士宮西 3:丹生 3:大垣商業	1:島田商業 2:丹生 3:中京院中京 3:新潟明訓	2日目 総的中制(40射) 1:大垣商業 2:中京院中京 3:浪速	1:豊橋商業 2:島田商業 3:多治見西

平成31年度岐阜県高体連弓道専門部組織について



※弓道部顧問は所属が望ましい。(任意)

岐阜県高体連弓道専門部 (岐阜県弓道連盟高体連部)

専門部長	
顧問	太田 明伯 (岐阜県弓道連盟 会長)

顧問会議

顧問代表者会議

委員長	今井 誠 (飛騨高山)	岐阜地区委員長	後藤 晴美 (岐阜各務野)
副委員長	加藤 隼人 (中京院中京)	西濃地区委員長	水谷 孝彦 (大垣養老)
副委員長	小森 升裕 (大垣商業)	中濃地区委員長	小川 晃太郎 (可児)
副委員長	柴田 健治 (岐南工業)	東濃地区委員長	松井 宏剛 (中津川工業)
会計	小栗 寛丈 (岐阜総合学園)	東濃地区副委員長	加藤 隼人 (中京院中京)
会計	佐々木悠輔 (大垣北)	飛騨地区委員長	島崎 隼一 (吉城)
監査	早瀬 郁夫 (武義)	監査	市岡 敦司 (恵那)
国体強化 委員長 (専門委員長) 委員 (副委員長・強化委員長が指名したもの)			

三役会

小委員会

地区	岐阜	西濃	中濃	東濃 17		飛騨
校数	8	5	6	西 10	東 7	5
加	岐阜総合	大垣北	武 義	多 治 見	恵 那	益田清風
盟	岐南工業	大垣商業	関 商 工	多治見北	恵那農業	斐 太
校	各務原	大垣工業	加 茂	多治見工業	恵 那 南	飛騨高山
41	岐阜各務野	不 破	東 濃	瑞 浪	中 津	高山工業
	羽 島	大垣養老	東濃実業	土岐紅陵	中津商業	吉 城
	済 美		可 児	土岐商業	中津川工業	
	城南			多治見西	坂 下	
	羽島北			麗澤瑞浪		
				中京院中京		
				東濃70テイ		

「活動のしおり」編集小委員会	
委員長 (柴田 健治 (岐南工業))	
委員 (早瀬 郁夫 (武 義))	
委員 ( ) ( )	

岐阜県高体連種目別委員 (平成31年度弓道専門部代表)  
 種目別強化検討委員  
 ( 加藤 隼人 (中京院中京) )  
 種目別研究委員  
 ( 小森 升裕 (大垣商業) )

- ・執行部の世代交代も考慮に入れて、役員を選出する。
  - ・副委員長の任務を、おおむね庶務会計(1)、選手強化(1)、競技会運営(1)に分担する。
  - ・岐阜県教職員弓道連盟 会 長 ( 早瀬 郁夫 (武義) )  
 同 代表幹事 ( 日比野恭一 (斐太) )
  - ・岐 阜 県 弓 道 連 盟 副 会 長・専 門 部 長 ( 今 井 誠 ) → 会長指名により  
 同 常 任 理 事 ( 早 瀬 郁 夫 )
- 審査等の受審については、各個人で県弓連各支部への登録を行ってください。

平成31年度事業計画一覧

岐阜県高体連弓道専門部

月	日	曜	大会・事業			
4	12	金	高校弓道部顧問会議	会場：岐阜総合学園高校		
	13 ～14	土 日	ぎふスポーツフェア 高校弓道大会	選抜大会上位6校、新人戦上位8校、補助員要請校および近県強豪校 1チーム5名		
5			第66回県高校総合体育大会 兼全国・東海総体県予選	地区予選通過基準	団体：40射 男18中、女15中以上 個人：8射 男4中、女4中以上	団体1位：全国総体出場 1～4位：東海総体出場
	18	土	団体予選	1チーム5名補欠2名、40射的中制、ベスト6選出		個人1～2位：全国総体出場
	19	日	個人	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		1～5位：東海総体出場
	25	土	団体決勝	6チームのリーグ戦		
6	1	土	全国教職員県予選大会			
	22 ～23	土 日	第66回東海高校総合体育大会	団体 予選：40射的中制 決勝：8チームのトーナメント 個人 予選：8射6中以上が通過 決勝：射詰		
	29	土	国体選手(少年)選考会(一次)	近的：16射	前年度新人戦上位8校の団体登録選手または個人3回戦進出選手 県高校総体上位6校の団体登録選手または個人3回戦進出選手 地区委員長推薦選手	
7	13-14-20	土・日	国体強化練習会			
	21	日	国体選手(少年)選考会(最終)	近的：16射 遠的：12射		
8	3	土	岐阜県高校顧問研修会			
	7・8	水・木	武道錬成大会			
	7 ～10	木 日	全国高等学校総合体育大会 第64回全国高校弓道大会	団体 予選：20射的中制 決勝：32チームのトーナメント 個人 予選：4射3中以上が通過 準決勝：4射3中以上が通過 決勝：射詰		
	24 ～25	土 日	第74回国民体育大会 第40回東海ブロック大会	1チーム3名 総合順位得点制(遠的：得点制 近的：的中制)	1～2位県は本大会出場	
			各地区強化練習会	各地区ごとに実施		
10	4 ～6	金 日	第74回国民体育大会	近的 予選：24射的中制 決勝：8チームのトーナメント 遠的 予選：24射得点制 決勝：8チームのトーナメント		
	11	金	高体連弓道専門部代表者会議			
			第38回全国高校弓道選抜大会 県予選	地区予選通過基準	団体：36射 男17中、女14中以上 個人：12射 男6中、女6中以上	団体1位注1：全国選拔出場 1～4位：東海選拔出場
11	4	月	団体予選	1チーム3名補欠1名、36射的中制、ベスト9選出		個人1～2位：全国選拔出場
	9	土	団体決勝	6チームの総的中制(60射)		1～6位：東海選拔出場
	10	日	個人	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		注1：女子団体は大垣商業を除く
	23 ～24	土 日	第37回東海高校弓道選抜大会	団体 予選：24射的中制 決勝：8チームのトーナメント 個人 予選：8射男子6中以上女子5中以上が通過 決勝：射詰		
12	24 ～26	火 木	第38回全国高校弓道選抜大会	団体 予選：12射的中制 決勝：16チームのトーナメント 個人 予選：4射3中以上が通過 準決勝：4射3中以上が通過 決勝：射詰		
	2		県新人大会	地区予選通過基準	団体：40射 男17中、女14中以上 個人：8射 男4中、女4中以上	
2	8	土	団体戦	1チーム5名補欠2名、予選：40射的中制、決勝：8チームのトーナメント		
	9	日	個人戦	男女とも 1, 2回戦計8射5中以上通過、12射総的中制		
	21	金	高体連弓道専門部代表者会議			
3	14 ～15	土 日	第16回中日本高等学校弓道大会	新人戦上位10チーム、補助員要請校および中日本地区の各県代表校		

(3) 平成31年度事業計画・運営について

① 各種大会について

(ア) 変更点・留意点

各大会 ・全国選抜大会県大会決勝への進出校は9チームとする。  
(表彰は上位4チームとする)

(イ) 試合運営等

前年度を踏襲する。

顧問会議にて、下記大会の立順抽選を行う。

県大会に出場するチームの立ち順は、抽選番号の若い順とする。

県総体兼全国総体予選		全国選抜大会県予選		県新人大会	
男	女	男	女	男	女

(ウ) その他

(a) 大会参加申込について

★大会要項・各種書式について

郵送による送付はしません。

高体連弓道専門部ホームページから最新版をダウンロードしてください。

URL <http://gifukyudo.sakura.ne.jp/>

★申込書の提出先 すべて下記に統一する。

宛先 〒506-0052 岐阜県高山市岡本町2000-30

飛騨高山高校内 今井 誠

メール p23633@gifu-net.ed.jp

電子メールでエクセルファイル(データ)を送る。(立順が決まったらメールで返信します)

(b) 各種大会の役員、補助員、会場準備について(例年通り)

★引率について

大会運営に差し支えるので、顧問引率をできるだけ2名で行ってください。

2名以上の引率の費用が出ない場合は、県弓連規定の旅費を支給します。申し出てください。

男女の参加チームがある場合は男女各1名、計2名の引率を原則とします。

★役員

・審判 県弓道連盟に依頼する。

・競技役員は、引率顧問全員で兼務する。

・任務配置は、プログラム作成者が決定する。

原則として、各係の責任者は執行部役員があたる。

・主催者または主管者が依頼した競技役員の旅費日当は、県弓連旅費規定または県高体連旅費規定により支払う。(審判も同じ)

★補助員(競技役員補助として)

・要項記載のとおり出場校に依頼する。

依頼人数分の飲食物を支給する

メモリアルセンターの場合、開場8:20 補助員集合を9:30とする。

★会場準備; 当日朝の会場準備を、8:20~8:50に到着校に依頼する。

前日の会場準備は必要な場合のみに行う。

## ② 地区強化練習会、講習会の実施について

主 催 高体連弓道専門部とする。  
地区分け 6地区  
期 日 月 日 (夏休み中が望ましい)  
会 場 地区専門部で確保  
費 用 地区強化費より支出  
参加制限 地区の事情にあわせて設定する  
目 的 ①地区内の競技力の向上を図る。  
②地区内の体配等の向上を図る。(審査等、学校間の格差をなくす)  
要 項 地区委員長が作成し、各校に配布  
内 容 地区に一任  
指 導 者 地区に一任

## ③ 選手強化について

- (ア) スポーツフェア (選抜上位6校、新人戦上位8校、役員要請校) 担当：加藤
- ・要項は、該当校に送付。
  - ・ただし、円滑な大会運営のため、補助員要請校の参加を認める。
- (イ) グローアップ 本年度は中止
- (ウ) 中日本大会 (新人戦上位10校) 担当：小森  
(ただし男子で中京院中京、大垣商業が優勝したためこの2校を除く)
- ・試合形式 5人立
  - ・運営方法、役員、補助員、費用などについては、前年度とおおり  
(競技役員を参加校顧問及び西濃・岐阜・中濃地区の部顧問に依頼)
  - ・要項は、該当校に送付。
  - ・ただし、円滑な大会運営のため、補助員要請校の参加を認める。

## ④ 国体選手選考方法について

(ア) 強化委員会

委員長 今井 誠  
副委員長 加藤隼人  
委 員 小森升裕、柴田健治、委員長が指名したもの

(イ) 国体選手の選考方法について

第一次 出場資格 下記①～⑤のいずれかに該当する者

- ①前年度新人戦団体トーナメントに進出したチームの登録者
- ②前年度新人戦個人3回戦に進出した者
- ③本年度県総体団体決勝リーグに進出したチームの登録者
- ④本年度県総体個人3回戦に進出した者
- ⑤地区委員長から推薦のあった者

近的16射で、上位12名程度を選出

最 終 一次通過者より、選手3名を決定する。

監督は、有資格者(スポーツ指導員等)であること(一般の方に委任も可)。  
選手所属校の顧問は強化事業へのご協力をお願いします。

#### (4) その他 (報告連絡事項)

##### ① 技能優秀選手・技能優秀校表彰について(県弓連表彰)

県大会での上位者、上位校に対し、執行部による推薦。

##### ② 全国高体連弓道専門部の選手個人登録について

登録料は不要。選手登録が無いと、全国高校総体、全国選抜大会には出場できない。

##### ③ 全日本弓道連盟システム登録について

県弓連登録＝全日本弓道連盟登録 となり、段級位審査の受審資格となります。

(ア) 平成26年度より、IDを所有する者(全日本弓道連盟登録者)は会費を納入することとなります。高校生については、今まで通りですが、休会等の処理をしっかりと行います。

(イ) IDの扱いは以下の通りです。

- ・一般も高校もIDについては共通です。
- ・ID登録は、入部時に行います。途中入部も同様です。
- ・すでに審査等を受けている者はIDを所有しています。また、スポーツ少年団などで行っていた生徒も同様です。IDが重複しますので、必ず確認してください。
- ・卒業時に、ID登録を休止とします。退部の場合も同様です。
- ・卒業後も大学、一般等で活動する場合。登録内容の変更を所属団体で行わせてください。
- ・休止は、弓道の活動を今後再開したい場合に選択します。再開には、関係団体への登録が必要です。その際、ID番号を申し出ることによって、IDが復活します。IDが不明の場合は、専門部のホームページへメールして確認するようにしてください。

(ウ) ID登録は、部員登録によって担当者が登録を行います。(エクセルファイルでの提出をお願いします)

(エ) IDカードの発行は行いません。

一般的な書式が、登録ファイルにつけてあります。必要に応じて、利用してください。

##### ④ 「弓道部活動のしおり No.38」 5月下旬までに、配布予定。

部員数+顧問数+学校用(2冊)の数をお持ちください。

不足した場合はインターハイ県予選の時にお申し出ください。

##### ⑤ 岐阜県弓道連盟と高体連弓道専門部について

(ア) 高体連弓道専門部は、岐阜県弓道連盟高体連部を構成する。(県弓道連盟規約第15条)

(イ) 各高校弓道部は、岐阜県弓道連盟の支部に準じた扱いになっている。(同第5条3)

(ウ) 高校弓道部員(生徒)の県弓道連盟への登録および会費の納入は、高体連弓道専門部をとおして行う。(同第24条(2))

(エ) 高体連弓道専門部を代表して、2名が県弓道連盟役員となっている。(同第9条2,10(2)イ)

高体連部長・副会長 今井 誠 会長指名役員(高体連部委員長)

常任理事 早瀬 郁夫 会長指名役員(高体連部事務局)

(オ) 県弓道連盟会員登録を希望する弓道部顧問は、県弓道連盟各支部をとおして各自で登録する。

会員登録がないと、審査が受けられません。

支部は、各市町村に置かれている。全日本弓道連盟の会費、県弓道連盟会費が必要です。

このほかに支部会費が必要となります。

できるかぎり、登録をしていただきたいとの要請が県弓連からあった。

なお、県弓道連盟会費の納入がないと、審査の受審資格はありませんので、支部を通して納入してください。(支部会費の扱いは、支部ごとに異なります)

単純に、顧問は一般扱いということで、会費等の優遇措置はありません。

◎ 現在、監査(早瀬：武義高校)が、県弓連との連携を担当しているので、審査関係、登録関係、一般での活動、講師の派遣など、不明な場合は問い合わせてください。

## ⑥ 岐阜県教職員弓道連盟と高校弓道部顧問について

### ⑦ 顧問の指導力の向上

#### (ア) 顧問研修会への参加

8月3日(土)顧問研修会(高体連弓道専門部主催)に、参加してください。

県弓連より、講師をお願いします。主に生徒の審査対応。

技術指導、情報交換を行います。新たに顧問になられた先生は、参加して下さい。

今年度は、実技指導も含めて行います。

任意ですが、教職員弓道連盟(6月1日(土))の研修会も参加にてください。

#### (イ) 中日本学校指導者講習会への参加

#### (ウ) 全国弓道指導者研修会への参加 日本館武道館研修センター(千葉県勝浦市)で実施。

#### (エ) 県弓道連盟主催の講習会への積極的参加

### ⑧ 地方審査について

・申込み期日は、審査の20日前です。

・どのようなスタンスで、受審させるのか。

専門部としては、審査については、

「個人の資格として受審」「引率は不要」と考えております。

顧問の考え方にもよりますが、適宜、受審させていただくのが望ましいです。

しかし、費用がかかりますので、部活動の運営上どうすべきか、適宜判断してください。

・審査の要領を、確実に指導してください。

要領については、丁寧に行い、身につけさせることが重要です。顧問で指導が無理ならば、県弓連への講師派遣を依頼してください。

常勤講師、非常勤講師以外にも、単発の指導に来ていただくように県弓連に要請ができます。

審査等の前に活用してください。

希望される場合は、早瀬か、県弓連理事長にお問い合わせください。

・要望